


テーマ『無碍の一道 出逢いの奇跡に感謝』

第59代会長 井口 朗

 2024-25年度（59年度）所感

2024-25年度、第59代会長を拝命いたしました。当年度の国際ロータリー、ステファニー・アーチック会長のテーマは「ロータリーのマジック」でした。多くの人々を救うロータリーの力を認識して、これをさらに広げるよう呼びかけていました。


私の父もロータリークラブにお世話になり、私は必然のように入会させていただきました。当クラブの会員の皆様はもちろんのこと、合同例会や地区での事業に参加し、たくさんの方との奇跡の出逢いにも恵まれました。まさにロータリーがマジック（魔法）のような力を持つ、魅力ある存在であることを実感していました。ロータリーという一つの道を選び、入会させていただき、会長を務めさせていただいたことに、心から感謝しております。

翌年度に当クラブが60周年を迎えることになり、当年度がとても大切な一年であると肝に命じ、会員の皆様には、改めてロータリーで活動して良かった（奉仕事業で徳を積んで、奇跡の出逢いで人生の得をした）と感じていただけることを目指して活動しました。

継続事業として、国分寺まつりへの参加、小学3年生を対象としたサッカー大会、市内の特別支援学級の中学生を対象としたニコニコアート展を開催するなどの奉仕事業を行ったほか、レモネードスタンド活動、グアムロータリークラブを通じたハーベストハウスへの寄付などの新たな試みも行われました。また、合同例会、姉妹クラブである佐渡南ロータリークラブ創立50周年記念式典への参加など他クラブとの交流も実施されました。

結果として、38回の例会の中で様々な出逢いと素敵な経験をさせていただきました。思いもかけず出席率100%例会も開催出来ました。多摩信用金庫国分寺支店での通常例会、夜間例会、奉仕事業の例会、親睦事業の例会、すべての例会が計画よりも素晴らしく、各委員長、会員の皆様には感謝の言葉しかございません。

無事に次年度萩原会長へ襷を引き継ぐことができ、安堵して終わった1年間でした。

 活動記録